お客様ご相談窓口・保証とアフターサービス

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は エコーセンターへ

TEL 0120－3121－68
FAX 0120－3121－87
(受付時間) 9:00～19:00(月～土)・9:00～17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様ご相談センターへ

TEL 0120－3121－11
FAX 0120－3121－34
(受付時間) 9:00～17:30(月～土)・9:00～17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合があります。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
なお、食品の補償等、商品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間 **お買い上げの日から1年間です。**
(ただし、冷凍サイクル・庫内冷却器用ファンおよびファンモーターは、5年間です。)
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは(出張修理)

22～24ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品名	日立冷凍冷蔵庫
型式	R-S270DMV (冷蔵室ドア内側の銘板に記載されている型式をお知らせください。)
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご住所	付近の目印等もお知らせください。
お名前	
電話番号	(　　)　－
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。

■ 保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ
修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫または冷凍庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検 長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな症状はありませんか
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 焦げ臭いにおいがする。
- ピリピリと電気を感じる。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- その他の異常や故障がある。

▶ 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日	型式	
購入店名	電話　(　　)		

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12　電話 (03)3502-2111

R-S270DMV Ⓐ

ビタミン＆真空保存 真空チルドV
日立 インバーター 冷蔵庫

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

日立冷凍冷蔵庫 家庭用

型式 R-S270DMV

このたびは日立冷凍冷蔵庫をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この冷凍冷蔵庫は**家庭用**です。業務用や食品収納以外の目的にはご使用にならないでください。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。
「安全上のご注意」➔P.2,3をお読みいただき、正しくお使いください。

ご購入後、初めてお使いになるときは、冷えるまで約4時間程度かかります。夏場など暑いときは、24時間以上かかることがあります。 ➔P.6

収納できる食品の高さを守り、食品はすき間をあけて収納してください。 ➔P.6,10,11,14,15

保証書別添付

もくじ

安全のため
2 安全上のご注意

使いはじめ
4 設置のしかた
6 使いはじめ

ご使用方法
7 特長と食品の貯蔵場所
8 温度調節・操作パネル
10 冷蔵室
12 真空チルドルーム
14 野菜室
15 冷凍室
16 自動製氷機の使いかた

お手入れ
18 給水タンクのお手入れ
19 お手入れのしかた
20 部品のはずしかた・取り付けかた

ご注意と点検
22 お困りのときは
25 消費電力量・冷凍室の性能／こんなときには
26 移動・運搬のしかた
27 仕様／別売部品
28 お客様ご相談窓口・保証とアフターサービス

日本国内家庭用
Use only in Japan

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

⚠注意 「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

「警告や注意を促す」内容のものです。

してはいけない「禁止」内容のものです。

実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

設置するとき 火災や感電、けがなどを防ぐために

●水のかかるところには設置しない。
（絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。）

●湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース（接地）・漏電遮断器を取り付ける。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アース・漏電遮断器の取り付けは販売店にご相談ください。
●地震に備えて転倒防止処置をする。➔P.4
●放熱スペースをあけて設置する。➔P.4,5

電源や電源プラグ・コードは 火災や感電、けがなどを防ぐために

●傷付けない。（傷んだときは使用しない。）
●冷蔵庫で壁などに押し付けない。
●束ねない。
●ぬれた手で抜き差ししない。
●コードを持って抜かない。
●タコ足配線、延長コードは使用しない。
●コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

15A・100V 単独で

●定格15A交流100Vのコンセントを単独で使う。
●定期的にプラグを乾いた布でふく。
●コードを下向きに、電源プラグは根元まで確実に差し込む。
●お手入れの際は抜く。➔P.19
●長期間使用しないときは抜く。

収納できないもの 厳密な温度管理が必要なものは保存できません

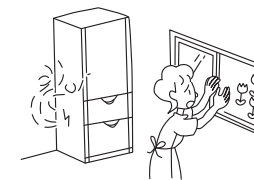
●薬品や学術試料を入れない。
●引火しやすいものを入れない。（引火爆発する危険があります。）

ふだん ご使用のとき 火災や感電、けがなどを防ぐために

●本体や庫内に水をかけない。
●冷蔵庫の上にもの、特に水を入れた容器を置かない。
●可燃性スプレーを近くで使わない。
●自動製氷機の機械部には手を触れない。
●ドアやドアの内側の部品、庫内の部品にはぶら下がらない、乗らない。
●庫内では電気製品を使用しない。
●分解・修理・改造は絶対にしない。
●本体にネジ等の鋭利なもので傷をつけない。
（冷媒がもれると発火・爆発の原因になります。）

⚠警告

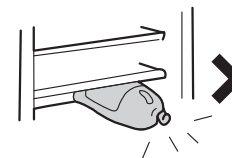
もしものとき 火災や感電、けがなどを防ぐために

●異常や故障のときは、電源プラグを抜き運転を中止する。
●可燃性ガスが漏れているときは、冷蔵庫に触れず窓を開け換気する。
●冷却回路（側面や背面・天面）を傷つけたときは換気して電気製品の使用を避け販売店に相談する。

廃棄するとき

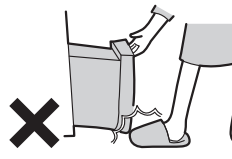
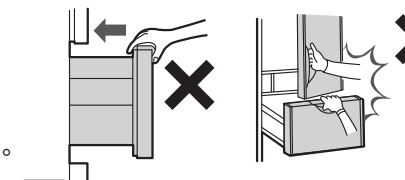
●リサイクルや保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合は、ドアパッキングをはずす。

⚠注意

食品を収納するとき 病気やけがを防ぐために

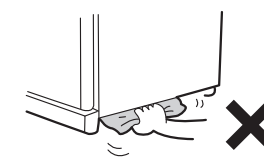
●ドアポケットの底面まで入らないボトル類は入れない。（無理に入れない。）
●食品は棚より前に出さない。
●におったり変色した食品は食べない。（腐敗により病気の原因になることがあります。）
●冷凍室にビン類を入れない。
●冷凍室の食品や容器（特に金属製）をぬれた手で触らない。

ドアを開け閉めするとき

けがを防ぐために

●冷蔵室ドアの上面・下面・側面を持って閉めない。
●冷蔵室ドアの取っ手に手をかけたまま引き出しドアを開閉しない。
●引き出しドアの上面・下面・側面を持って閉めない。
●最下段の引き出しドアに足を近づけすぎない。
●他の人が触っているときは開けない。

床に水が滴下するのを防ぐために

●長い間、ドアの隙間が続くと床に結露水や霜取りの水が滴下することがあります。扉の隙間は無いように確実にドアを閉めるようにしてください。

お手入れのとき けがを防ぐために

●冷蔵庫底面に手や足を入れない。
●自動製氷機の機械部に手を入れない。

移動・運搬のとき けがを防ぐために

●横積み輸送はしない。
●取っ手をクレーン等で吊らない。
●ドアの取っ手を運搬時に使用しない。

●食品や氷を取り出し、給水タンクの水をすてる。
●ドアが開かないようテープで固定する。
●床材を傷つけたり、冷蔵庫内部に残っている水がこぼれたりすることを防ぐ保護用のシート・布などを敷く。
●運搬用取っ手を持って2～4人以上で運ぶ。
●電源プラグ・コードは、たれ下がらないようにテープで固定する。

設置のしかた

■本冷蔵庫は屋内で使用してください。

ムダな電気代や
騒音をおさえるために、
正しく安全な設置を！

万一の地震にそなえて

- 「冷蔵庫用地震転倒防止ベルト」を２個ご使用いただき、丈夫な壁や柱に固定していただくことをおすすめします。
- 別売部品：「冷蔵庫用地震転倒防止ベルト」(部品番号R-826CV 300：1本入り）詳しくは販売店にご相談ください。

周囲に十分な放熱スペースをあける

最低 左右2cm以上、上部10cm以上

- 冷蔵庫は食品を冷やすため、周囲から熱を逃がしています。効率良く冷やすために、周囲に十分な放熱スペースをあけてください。また、万一冷媒が漏れた場合、滞留し発火・爆発の原因にもなりますので、最低でも左右2cm以上、上部10cm以上（冷蔵庫の天井面から）のすき間をあけてください。
- 本体側面中央では、表示寸法より若干大きめになっていますので、放熱効率のためにも設置寸法は余裕をもってご準備ください。
- 背面は壁に付けられますが、振動音がするときや、**壁の材質によって変色する恐れがあるとき**（圧縮機周辺の空気がほこりを伴って上昇するため）は、壁から離してください。
- 冷蔵庫の上に、ものを置かないでください。

熱気・直射日光の当たらないところ

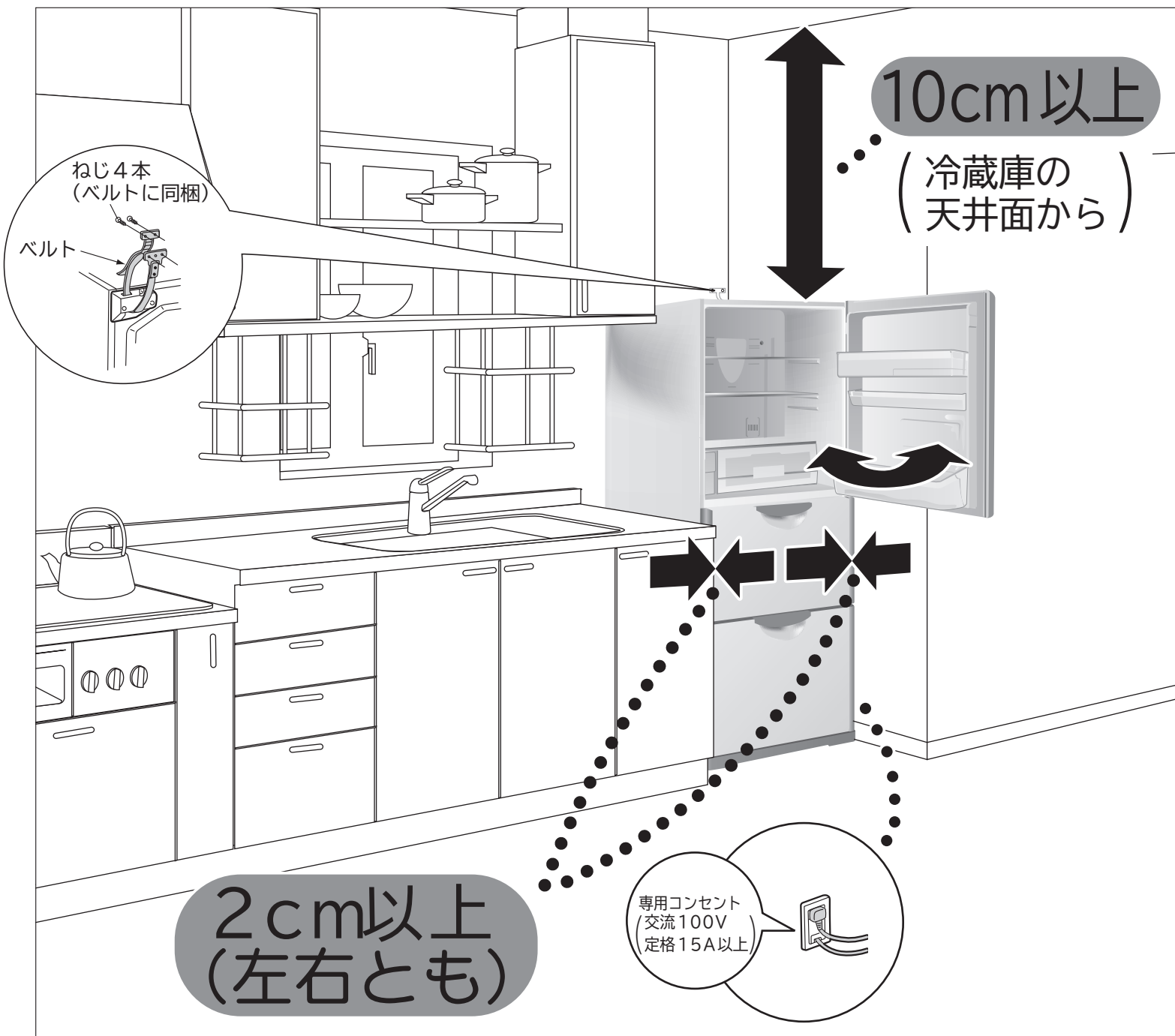
- 冷却力の低下をおさえ、電気代のムダを防ぎます。
- 直射日光はプラスチック部分の変色の原因にもなります。

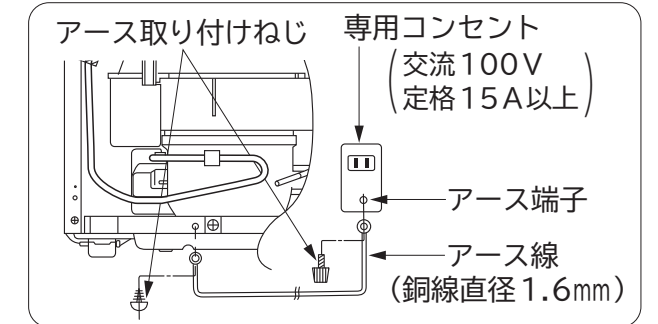
湿気が少なく、風通しのよいところ

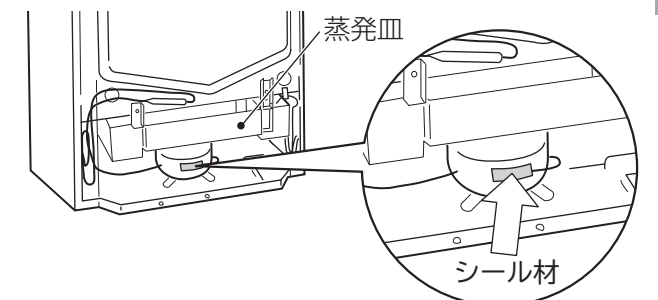
- さびの発生をおさえます。また電気代のムダを防ぎます。

※硫化ガス噴出の温泉地区等に設置する場合は、配管の防さび処理が必要となる場合がありますので、あらかじめ販売店にご相談ください。また、ガス害による故障は保証の対象外となります。

床が丈夫で水平なところ

- 次のような場所では、厚さ1cm程度の丈夫な板を敷いてください。
  - ・冷蔵庫底面の熱により変色する恐れのある、じゅうたん・畳
  - ・フローリング・塩化ビニール製の床材など。
  - （夏場には、床面が50～60℃になることがあります。）
  - ・冷蔵庫本体が傾く恐れのある、やわらかい床・弱い床など。

万一の感電防止のためにアースをおすすめします

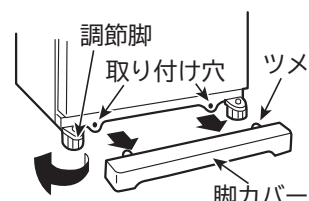
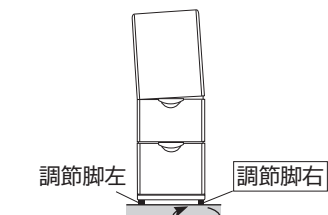
- 湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース・漏電遮断器の取り付けを販売店にご相談ください。
- 別売品：「アース線（2.5m）」（部品番号 NW-60R6 052）

アース線を接続してはならないところ

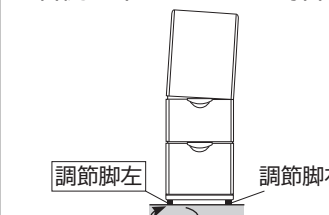
- 水道管（感電の危険）
- ガス管（爆発の危険）
- 電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

お願い

- 冷蔵庫背面下部の機械室パイプには、端面処理のためにシール材が貼り付けてあります。けがをする要因となりますので、このシール材は剥がさないでください。

固定のしかた

必ず調節脚を床につけ、水平に固定してください。ドア下がり・騒音・振動を防止します。

1. 脚カバーの両端を持って手前に強く引いてはずす。
2. 調節脚（左右）を矢印の方向に回して下げ、冷蔵庫を固定する。
3. 左右の調節脚を、冷蔵室ドアが平行になるよう調整する。
4. 冷凍室ドアを少し開けた状態で脚カバーのツメ部（左右）を冷蔵庫本体の取り付け穴に差し込み、取り付ける。

ドアの平行調整は

- 左側が下がっている場合
  調節脚右 を矢印の方向に回して調整してください。
- 右側が下がっている場合
  調節脚左 を矢印の方向に回して調整してください。

- 調節脚を回す量は、ドア段差1mmにつき1回転を目安にしてください。
- 冷蔵庫本体が床になじみ、ドアが平行に直るまでに、ある程度の日数（1～5日）がかかる場合があります。
- それでも傾きが直らないときは、別売品「扉調整プレート」（部品番号 R-Y6000 500）をお使いください。

⚠警告

■ **冷媒回路（配管）を傷付けない**
可燃性の冷媒を使用しているため、漏れると発火・爆発の原因となります。

■ **冷蔵庫の周囲はすき間を空けて設置する**
冷媒が漏れた場合、滞留し発火・爆発の原因となります。

お願い

- 冷蔵庫の設置状況により、電話機・インターホン・ラジオ・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このようなときは、冷蔵庫の本体および電源コードと他の機器をできるだけ離し、**冷蔵庫をアース（接地）することをおすすめします。**冷蔵庫の影響を受ける距離は、電波や設置の状態により異なります。

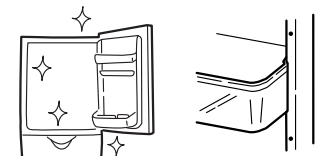
使いはじめ

●冷蔵庫は、「食品の鮮度をよくするもの」ではなく、あくまでも「食品が傷むことにある程度のブレーキをかけるもの」です。取扱説明書に従って正しく使用し、適切な食品管理を心がけてください。

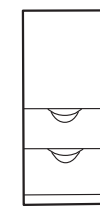
はじめに

1 庫内を清掃する

しめらせたやわらかい布で清掃する。

●冷蔵室ドアポケット付近に小さな穴が空いていますが製造上必要なものであり、異常ではありません。

2 専用コンセントに接続する

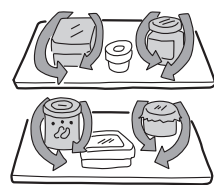
電源100V
定格15A以上

庫内が冷えている場合は、10分後に運転を開始します。

3 庫内が十分冷えてから食品を入れる

冷蔵庫の周囲の温度や食品の収納状態によって庫内が十分冷えるまでに4時間程度かかります。夏場など暑いときは24時間以上かかることがあります。

上手な食品の入れかた

すき間をあける

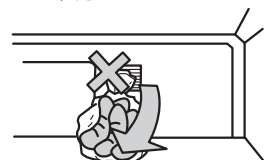
詰め過ぎると、冷気の流れが悪くなります。

食品は清潔に

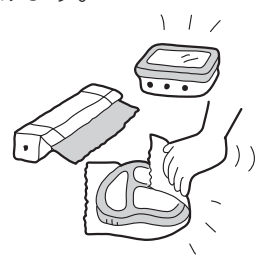
食品には、意外に多くの汚れが付いています。

食品は冷ましてから

温かい食品を入れると、庫内の温度が上がり、電気代のムダになりますので、冷ましてから入れることをおすすめします。

冷気の吹き出し口をふさがない

冷気の流れが悪くなります。また、食品が凍ることがあります。特に缶飲料を奥に入れると破裂することがありますので、十分注意してください。

密閉して

ラップや密閉容器を利用すれば、乾燥やにおい移りを防げます。

新たな食品を重ねない

冷えていた食品の温度が上がります。

こんなときには　使いはじめ

庫内がにおう	庫内にプラスチック部品を多く使用しているためですが、十分に冷えるにしたがってにおいは徐々に少なくなります。念のため、部屋の風通しをよくしてください。
ドアを開けるときしむ音がする	ドアを開けると庫内温度の変化により部品がきしみ、ピシッと音がします。また、ドアが閉まっていても同様の音がすることがありますが、異常ではありません。
プラスチック部品に、ひっかき傷のような細い線が見える	細い線はウェルドラインといい、部品の成形時に発生するものです。透明な部品について特に目立ちやすくなっていますが、強度上の問題はなく、割れに至ることはありません。

特長と食品の貯蔵場所

真空チルドルーム

●真空ポンプで容器内を低酸素状態にします。さらにビタミンカセットにより、食品の酸化を抑えます。
●酸化を防ぐことで、栄養成分や風味を従来よりも長持ちさせることができます。
●食品にラップをしても真空による効果は変わりません。
※真空とは大気圧よりも圧力が低い空間を指します。真空チルドルーム内は約0.8気圧で大気圧よりも低いので、当社では真空と呼んでいます。

節電モード

●積極的に節電したいときに、各室の温度設定を、冷却を少し弱める方向にシフトするとともに、圧縮機の回転数を抑えて運転します。
※節電モードでは冷却力が弱くなりますので、アイスクリームがやわらかくなるなど、冷えが弱いと感じられる場合があります。

●温度は、周囲温度30℃、各室温度調節を「中」にして、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの目安です。

温度調節・操作パネル

●設定を変えたいときは、ボタンを押して設定を切り替えてお使いください。
●冷蔵室・冷凍室は通常「中」の位置でお使いください。

冷蔵室温度設定ボタン
周囲温度30℃で、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの目安です。

弱	中	強
"中"より約2～3℃高め	約1～6℃	"中"より約2～3℃低め

●設定を"強"または"弱"にしますと、真空チルドルームの温度も多少変化します。
●ポケットは上表の温度より若干高めになります。

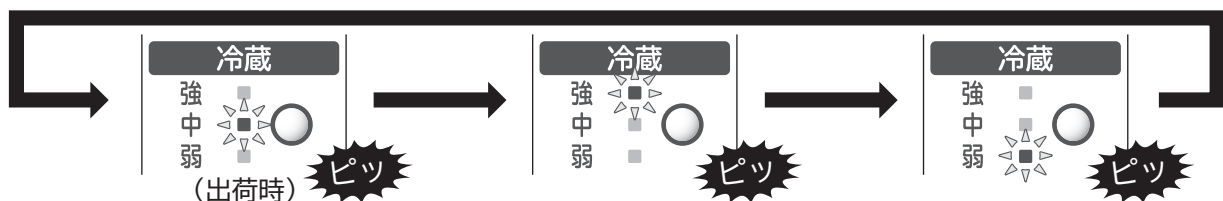
冷凍室温度設定ボタン
周囲温度30℃で、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの目安です。

弱	中	強
"中"より約2～3℃高め	約−20～−18℃	"中"より約2～3℃低め

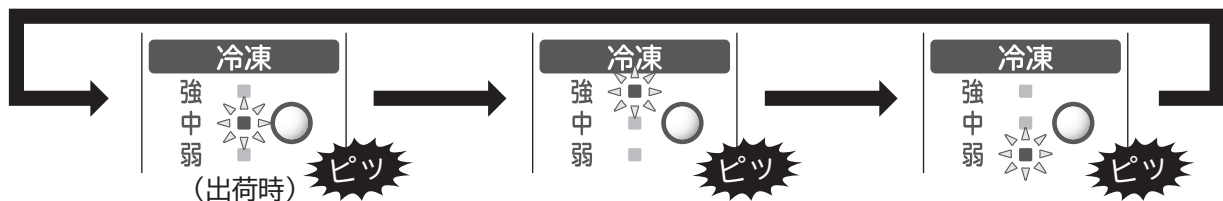
●"強"で長時間ご使用になると、アイスクリームなどが固くなったり、保存していた食品の解凍時間が長くなったりします。

※出荷時の操作パネルの表面には保護フィルムが貼られています。はがさずにご使用になられても問題はありません。

冷蔵室の温度を調節する

■冷蔵室温度設定ボタンを押して設定温度を調節します。
押すごとに以下のようにランプ表示が順番に切り替わります。

●通常は「中」の位置でお使いください。温度は使用条件により多少変動します。
●温度をさらに細かく調節するときは→P.24

冷凍室の温度を調節する

■冷凍室温度設定ボタンを押して設定温度を調節します。
押すごとに以下のようにランプ表示が順番に切り替わります。

●通常は「中」の位置でお使いください。温度は使用条件により多少変動します。
●温度をさらに細かく調節するときは→P.24

お願い　**冷蔵室、真空チルドルーム、野菜室の食品が凍結する場合**
●冷蔵室温度設定を"弱"にしてください。
●冷蔵室温度設定が"強"のときは、"中"に戻してください。特に"強"設定時には食品や給水タンクの水が凍結しやすくなります。
●冬など、周囲温度が5℃以下のときは、各温度設定を"弱"にすると、凍りにくくなります。
●野菜室の底面に菜もの類を寝かせて入れた場合、まれに凍結することがあります。食品包装用トレイなどを敷いて入れてください。
(野菜室は容器の周りから間接的に冷却しており、容器底面の温度が低くなっているためです。)

「節電」モードの設定のしかた

■冷却モードボタンを押して「節電」ランプを点灯させて、「節電」モードに設定します。
押すごとに以下のようにランプ表示が順番に切り替わります。
「節電」モードを止めるときには、「節電」ランプを消灯させてください。

「節電」モードは、さらに積極的に節電をしたいときにご使用ください。
「節電」モードに設定すると、
● **各室の温度設定が、冷却を弱める方向にシフトします。**
● 冷蔵室ドアの開放時間が長く続くと(30秒以上)、冷蔵室のLEDライトの明るさを抑えて節電します。

お知らせ
● 「節電」モード設定中に「急速冷凍」に切り替えると、「節電」モードが解除されます。再度設定してください。
● 設定温度を「弱」でお使いの場合は、設定温度をシフトしないため、節電効果はありません。

ご注意
● **冷却を弱める方向にシフトするため、アイスなどがやわらかくなったり、冷凍食品に霜がつく場合があります。また、食品を冷凍させる場合の凍結時間や、製氷時間は通常より長くなります。**

操作パネルの「製氷」ランプが点滅している

故障をお知らせしています。

● 「製氷」ランプが点滅しているときは、自動製氷機・温度制御または霜取り装置などに異常があることをお知らせしています。お買い上げの販売店にご相談ください。
● ただし、下表の点滅パターンは、故障でなくても表示する場合があります。
ご相談の前に、下表の内容をご確認ください。点滅が消えれば正常です。

点滅パターン	考えられる原因	ご確認いただきたいこと
3回点滅	●製氷皿や貯氷量検知レバーに、食品などが当たっている可能性があります。	●貯氷コーナーを空にして、「製氷おそうじ」を実施してください。→P.17
3秒間点灯後1回点滅	●冷凍室ドアが、食品などに当たって半開きになっている可能性があります。	●冷凍室ドアがきちんと閉まることを確認し、冷凍室内が十分冷えるまでお待ちください。
3秒間点灯後2回点滅	●冷蔵室ドアが、食品などに当たって半開きになっている可能性があります。	●冷蔵室ドアがきちんと閉まることを確認し、冷蔵室内が十分冷えるまでお待ちください。

ドアアラーム

ドアの開放状態が30秒以上になると、下表のようにアラーム音が鳴り、ドアが開いていることをお知らせします。

ドアの開放時間	アラーム音
30秒後※	ピーッピーッピーッ
1分後	ピーッピーッピーッ
2分後	ピーッピーッピーッピーッピーッ
3分後	連続で鳴り続けます。

※30秒後は、「節電」モード設定時のみドアアラームが鳴ります。
ドアアラーム機能は、冷蔵室、冷凍室についています。(野菜室にはついていません)

ドアアラームの設定

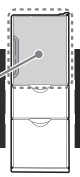
■アラームを鳴らないようにするには
冷凍室のドアを閉めて冷却モードボタンを"ピーッ"と鳴るまで約3秒押しつづける。
↓
設定が完了すると表示が元に戻ります。

冷却モード　節電　急速冷凍　点灯　ピッ　約3秒　ピーッ

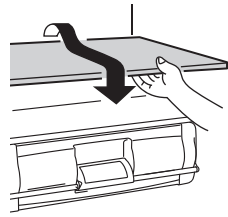
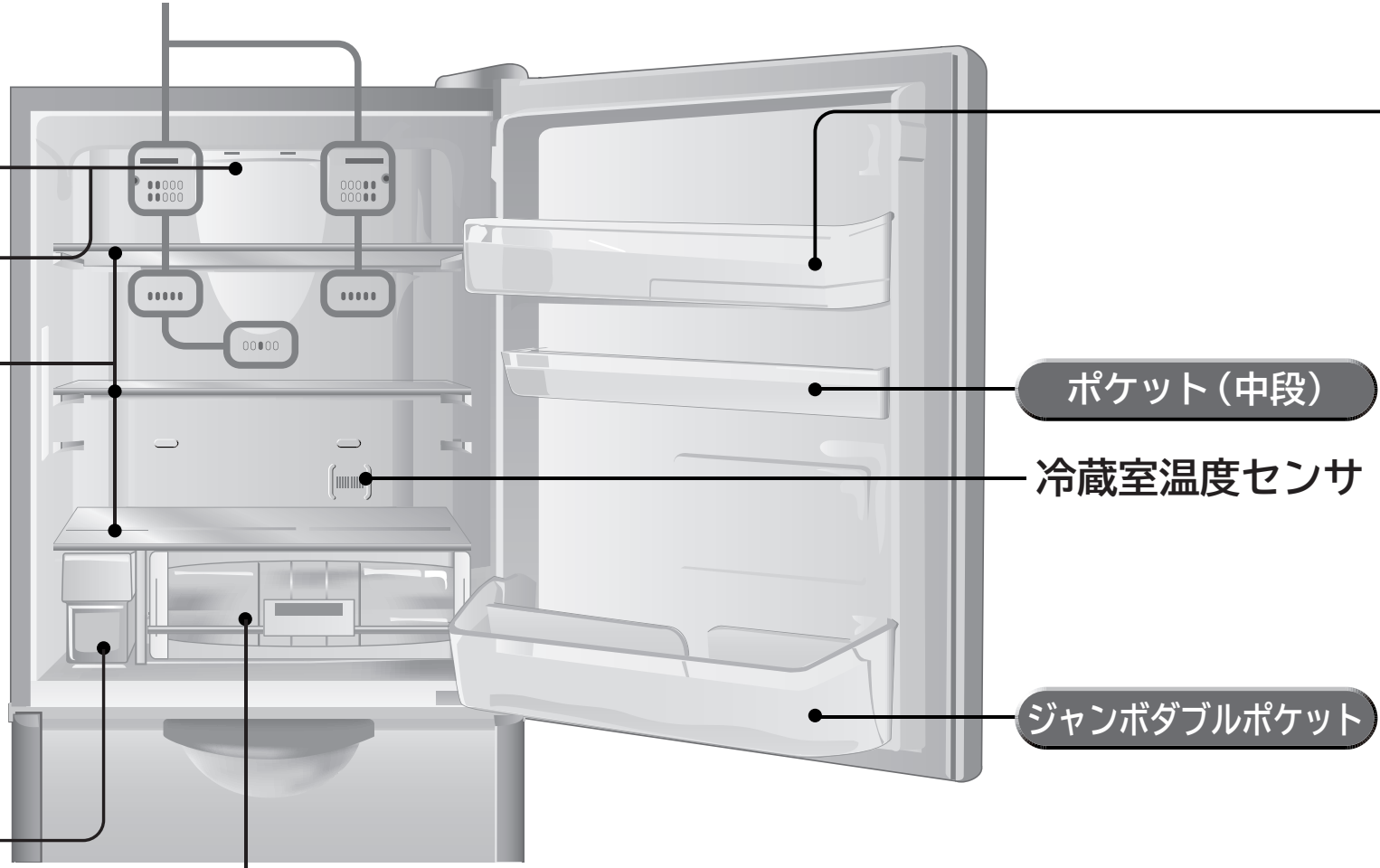
■再びアラームを鳴るようにするには
冷凍室のドアを閉めて冷却モードボタンを"ピピッ"と鳴るまで約3秒押しつづける。
↓
設定が完了すると表示が元に戻ります。

点灯

お知らせ
●ドアアラームを鳴らないようにすると、操作音も鳴らなくなりますが「製氷おそうじ」のアラームは鳴ります。
●出荷時は、ドアアラームが鳴る状態に設定されています。
●電源プラグを抜き差ししたり、停電復帰した後はドアアラームが鳴る状態に戻ります。

冷蔵室

うすいん棚（上段）／高さかわるん棚（中段）／固定棚（下段）

高さかわるん棚は食品の高さや使い方に合わせて調節できます。

- ●棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出すと取り出せます。
- ●お好みの位置に合わせ、棚を奥面に当たるまで押し込んで下さい。
- ●うすいん棚、高さかわるん棚、固定棚には13kg以上のものを載せないでください。棚が変形したり、割れたりすることがあります。

給水タンク ➔P.16

ポケット（上段）

- ●卵ケースには、卵を市販のパックのまま入れることができます。

卵ケース

- ●卵ケースを裏返しにすると、小物ポケットとしても使えます。

卵ケース

真空チルドルーム ➔P.12

収納に適した食品

●肉類・加工肉
牛肉・豚肉・鶏肉・ハム・ソーセージなど

●魚介類・海産物
あじ・いわし・さんま・いくら・たらこなど

●野菜・果物
野菜サラダ・赤ピーマン リンゴ・オレンジ・キウイなど

●その他
コーヒー豆・茶葉・乳製品・練り物など

収納に注意が必要な食品・容器

●密封袋入り食品
収納中に袋が膨らみ、他の食品をつぶすことがありますのでご注意ください。

ウインナソーセージ・袋入りチーズなど

●プラスチック密閉容器
ふたが浮いたりずれることがあります。取り出すときにご注意ください。

収納に適さない食品

●低温に弱い野菜
低温に弱く表面がくぼんだり、変色することがあります。

⚠ 注意

■ポケットに不安定で倒れやすいビン類や缶類を立てて入れない
落下して、けがの原因になります。

■ジャンボダブルポケットにボトル類を無理に入れない
ドアの開閉でポケットがはずれたり、ボトル類が落下して、けがの原因になります。

■棚は決められた位置以外では使用しない
棚のストッパーがきかず、棚や食品が落下しやすくなります。

お願い

- ●高さかわるん棚・うすいん棚にビン類や食品容器を載せる場合は、ランプカバーに強く突き当てないでください。ランプカバーが割れることがあります。
- ●真空チルドルームの前にはものを置かないでください。真空チルドルームとジャンボダブルポケットとの間にはさまれて、半ドアとなったり、部品や食品を破損することがあります。
- ●冷気吹き出し口付近は温度が低くなるので、水分の多い食品や缶飲料は置かないでください。凍結したり、破損する恐れがあります。
- ●冷蔵庫温度センサの近くに高温の食品を置くと冷蔵室全体の温度が低くなり、食品が凍結する場合があります。センサの近くでは、なるべくすき間をあけて食品を置いてください。
- ●真空チルドルームに保存する食品の量や種類（水分の多い食品等）によっては真空チルドケース内に結露・凍結する場合があります。気になるときはやわらかい布にぬるま湯を含ませてふき取ってください。➔P.13
- ●真空チルドルームで保存した食品は種類によって凍結する場合があります。食品の凍結を防ぎたい場合には冷蔵室温度設定を“弱”にして頂くか、あるいは食品を冷蔵室に移し替えて保存してください。
- ●真空チルドルームの温度を下げたい場合は、冷蔵室温度設定を“強”にしてください。
- ●肉・魚を保存するときは、冷蔵室温度設定を“強”にした上で、真空チルドルームに保存することをおすすめします。

真空チルドルーム

お使いの準備

■真空チルドボタンを押して、ランプを点灯させてお使いください。（出荷時は「ランプ点灯」になっています。）

真空チルドルーム内が真空となり、低酸素状態で保存します。

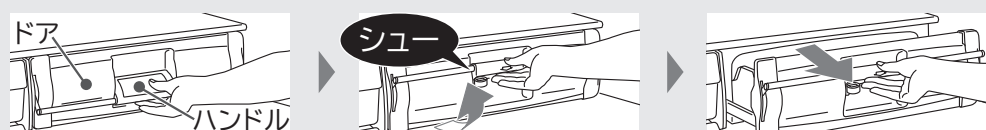
●ランプ点灯中は、真空チルド内の気圧変化を検知して、自動で真空ポンプが動作し、真空を保ちます。
●真空チルド内が真空になっていれば、真空チルドドアを開けるとき「シュー」と音がします。
●通常のチルドルームとして使用するときは、真空チルドボタンを押してランプを消灯させてお使いください。

お知らせ
●真空チルドランプが点滅するときは、真空機能が正常に動作していないことがあります。→P.23
●真空チルドルーム内を低酸素状態にするために真空ポンプが動作を始めると、音や振動が起こりますが、異常ではありません。
また、動作中に野菜室のドアを開けると大きく聞こえることがあります。
●収納に適さない食品、収納に注意が必要な食品・容器があります。→P.10

ドアを開けるとき、閉めるとき

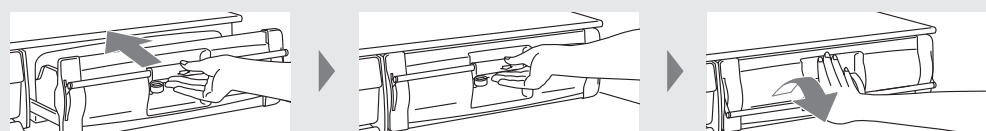
開けるとき

ドアのハンドルに下から手を掛けて、引き上げてロックをはずします。

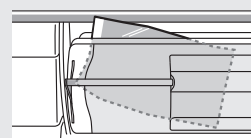
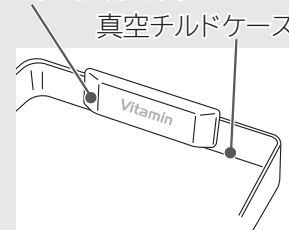
「シュー」という音が消えてから手前に引き出します。

お知らせ
●「シュー」と音が聞こえている間はドアは引き出せません。

閉めるとき

ハンドルに手を当てて奥まで押し込みます。

ハンドルを最後までしっかり下げてドアをロックします。

お知らせ
●ハンドルを最後までしっかり下げないと真空チルドが正常に動作しません。

ご注意
●真空パッキンに食品の包装などがはさまったり、汚れや糸くず、ごみが付着すると真空チルドが正常に動作しません。食品の入れすぎによる、包装のはさみ込みに注意してください。
●冷蔵室ドアを閉めるときは、真空チルドルームのドアを閉じた状態で閉めてください。
ドアが開いた状態で冷蔵室ドアを閉めると、ドアやケース、食品を破損することがあります。

包装のはさみ込みに注意してください。

ビタミンカセット

■低酸素状態のときにビタミンを放出して食品の栄養素を長持ちさせます。
●真空チルドケースを水洗いする際にはビタミンカセットを必ず取りはずしてください。
水洗いしてしまうと、酸化防止効果が低下しますので交換をおすすめします。→P.27
●ビタミンカセットは、分解しないでください。
●ビタミンカセットは所定の位置に取り付けてご使用ください。
真空チルドのドアがきちんとしまらないことがあります。
※ビタミンカセットの定期的な交換は不要です。

水洗い禁止

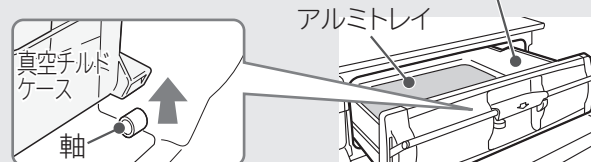
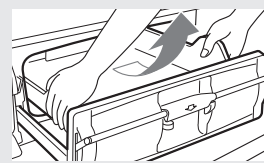
お手入れのしかた

●お手入れは月1回

真空チルドケース・アルミトレイ

■はずしかた・取り付けかた

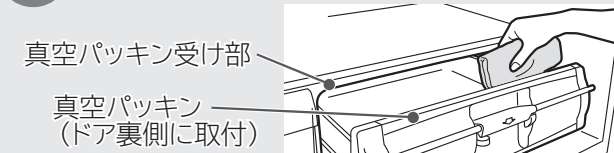
●ドアを手前いっぱいに引き出します。

1. 真空チルドケースの手前側を軽く持ちあげてドアの軸からはずします。

2. 真空チルドケースを滑らせるように引っぱり出します。

●真空チルドケースを水洗いする際にはビタミンカセットを必ず取りはずしてください。
●取り付けかたは、はずしかたの逆の順序で行います。

お願い
●真空チルドルームは密閉しているために、食品や空気中に含まれる水分により、ルーム内に水滴や霜がつくことがあります。真空チルド内部や真空チルドドア周辺に水滴や霜がついた場合は、やわらかい布にぬるま湯を含ませてふき取ってください。

水滴や霜

真空パッキン

1. ドアを手前に引き出し、真空チルドケースとアルミトレイをはずしてください。（左参照）
2. 真空パッキンと真空パッキン受け部を、やわらかい布にぬるま湯を含ませて、ふいてください。

■ふいても真空パッキンの汚れが落ちないときは取りはずして水洗いをしてください。

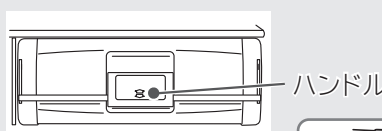
3. 向かって右上の真空パッキンのつまみに手をかけてていねいにはずします。

4. 汚れた部分をやわらかいスポンジなどで水洗いし、乾いた布などで水気を十分にふき取ってください。
5. ドアの真空パッキン取付溝の汚れをふき取ってください。
6. 真空パッキンのつまみを取付溝の切り欠きに合わせてしっかりと取り付けてください。

7. 真空チルドケース、アルミトレイを取り付けてください。（左参照）

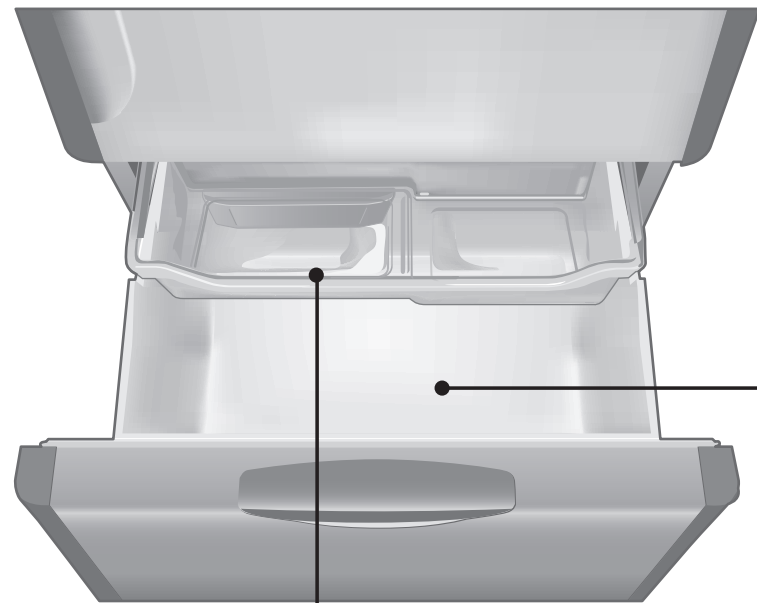
ご注意
●水や食品汁をこぼしたときは、すぐにふき取ってください。
水が凍って真空チルドケースが正常に動作できないことがあります。
●ぬるま湯以外の洗剤などを使用すると部品が破損・変形・変色し、真空状態を保持できなくなることがあります。
●周囲温度が低いとき、水分の多い食品は凍結することがあります。
●真空チルドケース、アルミトレイと真空パッキン以外は、はずさないでください。

真空解除弁

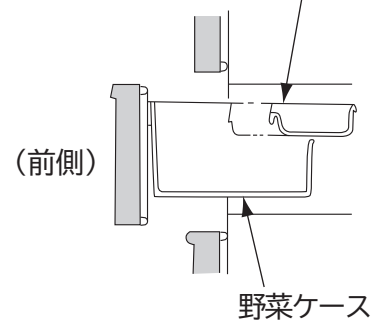
■ハンドルを上げてロックをはずすと、真空解除弁により真空状態が解除され容易に開閉ができるようになります。

ご注意
●真空解除弁（青色）がはずれたり、緩んでいると真空チルドが正常に動作しません。
→ハンドルの穴にしっかりと取り付けてください。
●真空解除弁に食品かすやごみなどが付着していたり、汚れたりしていると真空チルドが正常に動作しません。
→ごみなどは取り除いてください。汚れはふき取ってください。

●真空チルドでお困りの時は…→P.23「お困りのときは」をご覧ください。
●破損・変形・変色して真空状態が保てなくなったら交換してください。→P.27

野菜室

野菜室

野菜ケース

●野菜ケースには9.5kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

●野菜ケースに食品を入れるときは、スライド小物ケースの下面より上に食品が出ないようにしてください。食品やスライド小物ケースを破損することがあります。

スライド小物ケース…果物や小物野菜の貯蔵に。

●スライド小物ケースをはずして使わないでください。野菜室の温度が低くなり、また、高湿を保てなくなります。
●スライド小物ケースには1.5kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

⚠注意

■ 野菜室のドアを閉めるときは上面を持たない

ドアの上面を持って閉めると、指をはさんでけがをすることがあります。

⚠警告

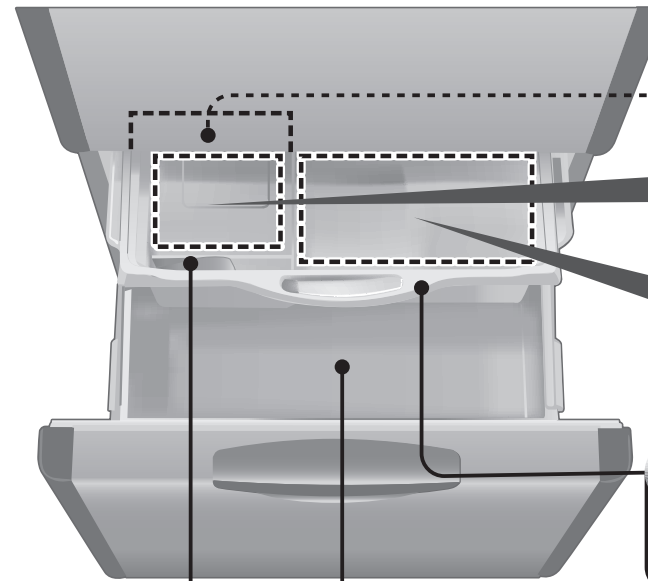
■ 野菜室ドアを引き出した状態でドアに乗ったり ぶらさがったりしない

冷蔵庫が倒れたり、ドアがはずれたりしてけがをすることがあります。

お願い

● 野菜の量や種類によって、スライド小物ケースの底面や野菜室天井に結露することがあります。水がたまると食品が傷みやすくなるので、乾いた布でふき取ってください。
● 水洗いした野菜は、よく水気を切ってから入れてください。
● 長ねぎ・にら・わけぎなど、他の食品へのにおい移りが気になるものは、ラップをして保存してください。
● 野菜室に入れた野菜が乾燥する場合は、ラップをしてください。
● 周囲温度が5℃以下のとき、野菜ケース底面が凍結する場合は、冷凍室温度設定を“弱”にしてください。

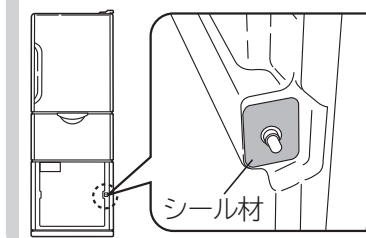
冷凍室

冷凍室

自動製氷機

貯氷コーナー

急速冷凍コーナー

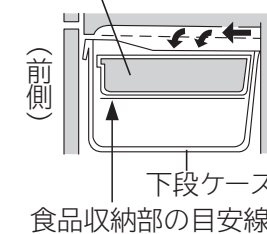
冷凍室ドアスイッチ

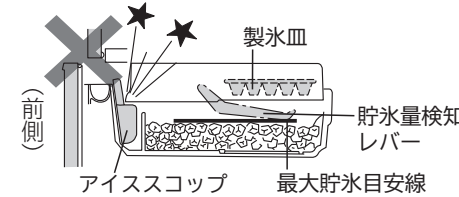
このシール材は性能を保証する為に貼付けてあります。
取りはずさないでください。

スライドケース

●スライドケース内には4.5kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

下段ケース

大きな食品や長期間貯蔵する食品を入れます。

●下段ケースには11kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。
●下段ケースの目安線より上に、食品が出ないようにしてください。食品がスライドケースに当って、ドアが確実に閉まらなくなり冷えが悪くなります。また、食品やスライドケースを破損することがあります。

アイススコップ

●アイススコップは所定の位置に倒して置いてください。➔P.16
立てて置くと、半ドアになったり、ケースや製氷機を破損することがあります。

急速冷凍

ホームフリージングやまとめ買いしたときに。

1 急速冷凍コーナーに食品を入れる。

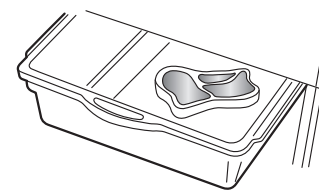
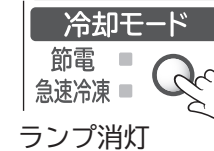
2 冷却モードボタンを押し、「急速冷凍」を設定する。

ランプ点灯

3 あとは待つだけ！（約2時間で「急速冷凍」運転を自動終了）

ランプ自動消灯

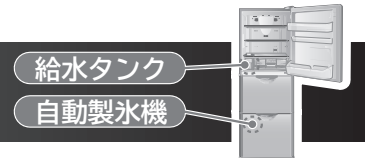
4 途中で止めるときは冷却モードボタンを押して「急速冷凍」ランプを消灯させる。ボタンを押すごとにランプ表示は順番に切り替わります。➔P.9

ランプ消灯

● 「急速冷凍」中は冷凍室を優先して冷却しますので、冷蔵室の温度が上がりやすくなります。
ドアの開閉をなるべく少なくすることをおすすめします。
● 「急速冷凍」終了後の60分間は、再度冷却モードボタンを押してもランプは点灯しますが、運転は行いません。60分経過後、運転を開始します。
● 薄肉等の食品を入れるときには、ラップをしてください。密着する場合があります。

お知らせ

● 霜取り中は急速冷凍のランプは点灯しますが、運転は行いません。霜取り終了後、自動的に運転を再開します。
● 急速冷凍時は庫内ファンと圧縮機の回転数を増しているため、運転音が大きめになります。

こんなときは

● 周囲温度が高い夏場などは、急速冷凍の効果が少なくなる場合があります。

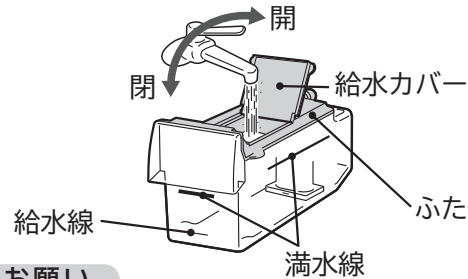
自動製氷機の使いかた

給水タンク
自動製氷機

■給水タンクに水を入れ、セットするだけで氷ができます。一定量の氷がたまると、自動的に止まります。

氷のつくりかた

使いはじめや1週間以上使わなかった場合、においやほこりが付いていることがありますので、給水経路や製氷皿のおそうじを実施してください。→P.17

給水タンクを取り出します。
- 給水タンクは、はずれ防止のため少し固めに取り付けています。はずしにくい時は手前を少し浮かせて引いてください。

給水カバーを開け、水を入れます。
- 「満水線」まで水を入れてください。満水線以上に水を入れると、ふたの周りから水が漏れます。

お願い
- 水道水をそのままご使用ください。井戸水や浄水器などで塩素分などを取り除いた水やミネラルウォーター、一度沸騰させた水をご使用の場合は、雑菌が繁殖しやすくなるため、3日に1回を目安にお手入れをしてください。(お手入れは→P.18)
- ミネラルウォーターをお使いの場合は硬度100mg/L以下のものをお使いください。

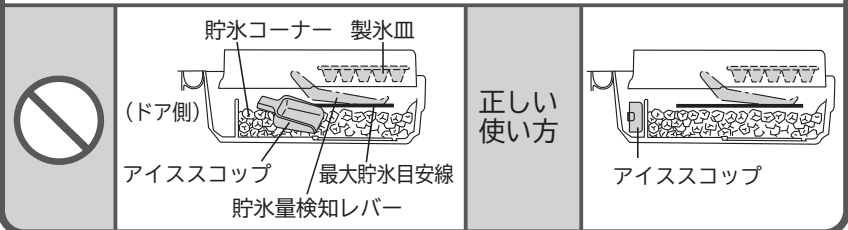
給水タンクを「タンクセット位置」の奥まで確実に押し込みます。
- 給水タンクの押し込みが不十分の場合は、給水されず製氷できません。

4 給水タンクの水が「給水線」までなくなったら水を補給します。

⚠警告

■ **自動製氷機の機械部には手を触れない**
- 製氷皿が回転したとき、けがをすることがあります。

氷の保存について

- 氷の量は自動製氷機の貯氷量検知レバー(通常は見えません)が自動的に検知します。氷が一定量になると製氷を自動停止し、少なくなると製氷を再開します。
- 最大貯氷目安線は、氷をたいらにならして製氷したときの貯氷量の目安線です。氷が部分的にたまると、早期に検知レバーが氷に当たり、貯氷量が少ない状態で製氷が停止することがあります。
- 氷の量を正しく確認するため、氷は平らにならし、アイススコップは所定位置に倒して置いてください。
- 貯氷コーナーには冷凍食品などを入れないでください。製氷を停止することがあります。

製氷時間と製氷能力について

- 製氷時間は、1回約150分かかります。氷の量は約70個、氷をならすと約120個収納できます。(周囲温度30℃、ドア開閉なしのとき)1回の製氷で、10個の氷ができます。
- 次のようなときには、製氷時間が長くなります。
  - **初めてお使いのとき(24時間以上かかることがあります)**
  - ドアの開閉が多いとき
  - 冷蔵庫に大量の食品を一度に入れたとき
  - 冬場など周りの温度が低いとき
  - 停電があったとき
  - 「節電」モードに設定したとき

お願い
- **給水タンクの取り付けは、給水タンクの「給水」と「満水」表示側を手前にして取り付けてください。**
- **給水タンクには、水以外は絶対に入れないでください。**
〔ジュース・お湯などは故障や変形の原因になります(耐熱温度50℃)〕
- 貯氷コーナーに水を入れて氷をつくらないでください。ケースが割れることがあります。
- 周囲温度が5℃以下の場合、給水タンクの水が凍ることがあります。このようなときは、氷を取り除いて水を入れなおし、冷蔵室の温度設定を「弱」にしてください。→P.8
- 冷凍室のドアは、ゆっくりと開閉してください。勢いよく開閉しますと氷が貯氷コーナーからこぼれ、下段ケースに落ちることがあります。

急速製氷

急いで氷をつくりたいときに。

1 給水タンクに十分水が入っていることを確認する。

2 冷却モードボタンを押し、「急速冷凍」を設定する。

ランプ点灯

3 あとは待つだけ!(約2時間で「急速製氷」運転を自動終了)

冷却モード
節電
急速冷凍
ランプ自動消灯

4 途中で止めるときは冷却モードボタンを押して「急速冷凍」ランプを消灯させる。ボタンを押すごとにランプ表示は順番に切り替わります。→P.9

節電
急速冷凍
ランプ消灯

- 「急速製氷」運転中の製氷時間は1回約90分、(10個)です。(周囲温度30℃、ドア開閉なしのとき)
- 「急速製氷」中は冷凍室を優先して冷却しますので、冷蔵室の温度が上がりやすくなります。ドアの開閉をなるべく少なくすることをおすすめします。
- 次のようなときはランプは点灯しますが「急速製氷」運転は行いません。
  - ・自動製氷の設定が「停止」「製氷おそうじ」中、または「停止」から「運転」に切り替えた直後。
  - ・「急速冷凍」または「急速製氷」終了後から60分間。
  - ・給水タンクに水がないときや、貯氷コーナーの氷がいっぱいのとき。

自動製氷機の設定切り替え

冷蔵室内の操作パネルの製氷ボタンで、自動製氷機の設定を切り替えられます。
- 製氷ボタンを押すごと、操作音が鳴り「製氷」ランプが点灯(製氷運転)↔「停止」ランプが点灯(製氷停止)に切り替わります。

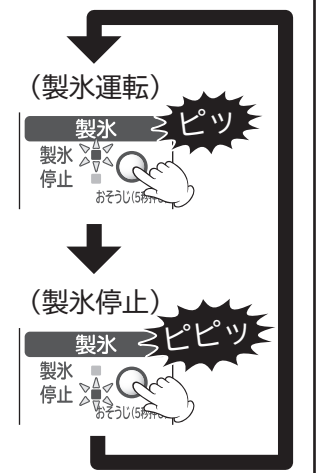
自動製氷機で氷をつくるときは

製氷運転(「製氷」ランプ点灯)

給水タンクに水を入れ、セットするだけで、貯氷コーナーに氷ができます。一定量の氷が貯まると、自動的に止まります。
- 製氷運転中は「製氷」ランプが点灯します。
- 出荷時は製氷運転に設定されています。

冬期など長期間氷がいらないときは

製氷停止(「停止」ランプ点灯)

製氷を停止します。タンクをよく洗い、乾かして所定の位置に戻してください。
- 製氷停止から製氷運転に切り替えた直後は、給水パイプ凍結防止ヒーターの予熱運転を行うため、製氷時間が長くなります。

製氷おそうじ機能の使いかた

使いはじめや1週間以上使わなかったときは、製氷皿や給水路のにおいやほこりをおそうじしてください。

準備

1 冷凍室の貯氷コーナーを空にする。 → **2** 給水タンクに水を入れ、所定の位置にセットする。 → **3** 冷凍室のドアを閉める。

おそうじ

4 操作パネルの製氷ボタンを、"ピーッピーッピーッ…"と鳴るまで"約5秒"押しつづける。アラームが鳴り始めたら、冷蔵室のドアを閉める。

ピーッピーッピーッ…
おそうじを行う間、「製氷」と「停止」ランプが点滅し続け、連続的にアラームは鳴り続けます。

5 約3分後、ランプの点滅が終了し、アラームが鳴り終わっておそうじ完了。

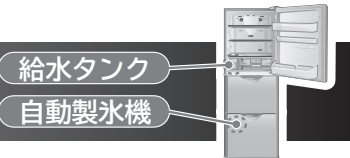
かたづけ

6 貯氷コーナーにたまった氷や水を取り除く。 → **7** 乾いたタオルで貯氷コーナーをふき、元の位置に戻す。

お願い
- 「製氷おそうじ」中に冷凍室を開けると動作を中断する場合がありますので、アラームが鳴り終わるまで、ドアを閉めたままお待ちください。(ドアを途中で開けないでください。)
- 貯氷コーナーにたまった氷や水を、「スライドケース」をはずして捨てるときには水こぼれにご注意ください。(「スライドケース」のはずしかた・取り付けかたはを参照ください。)

ご使用方法

自動製氷機の使いかた

給水タンクのお手入れ

給水タンク
自動製氷機

「ぬめり」や「水アカ」の発生を防ぐため、給水タンク各部は必ず週１回水洗いをしてください。

- 長期間氷をつくらないときは、必ず給水タンク各部をよく乾燥させて冷蔵室の所定の場所に戻してください。特に浄水フィルターはよく乾かしてください。自動製氷機の設定を「製氷停止」にすることをおすすめします。➔P.17
- 自動製氷機の設定を「製氷停止」にしない場合、ときどき給水ポンプの運転音がしますが、異常ではありません。

● ふたの開けかた
ふたの手前側を持ち上げるように矢印の方向へ開けてください。

● ふたの閉めかた
ふたの後側から差し込み、矢印の方向へ閉めてください。

浄水フィルター

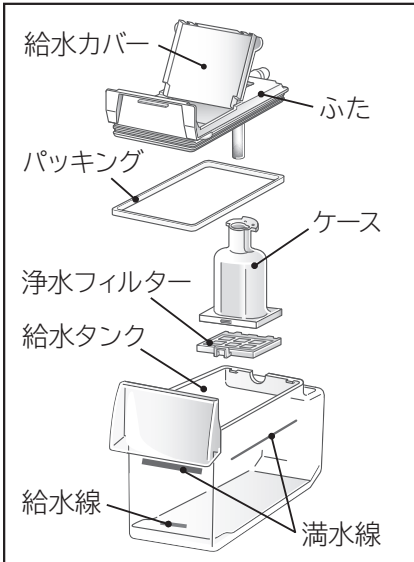
1 ケースを矢印の方向に回し、ふたからはずす。

ふた
ケース

2 ケースの下側を指で押さえながら、浄水フィルターのつまみを指で引っ張ってはずす。

3 やわらかいスポンジで水洗いする。

- 台所用中性洗剤・漂白剤などは使用しない。
- 破れやすいので棒などではつつかない。

給水カバー
ふた
パッキング
ケース
浄水フィルター
給水タンク
給水線
満水線

浄水フィルターの交換

- 古くなったら交換してください。(約３～４年が目安です)
➔P.27

こんなときには(自動製氷機)

こんなとき	お調べください
製氷しない 氷の量が少ない	●給水タンクに水が入っていますか？ ●給水タンクが奥まで正しく入っていますか？ ●給水タンクの水が凍っていませんか？ 凍っている場合、冷蔵室温度調節を「弱」にしてください。 ●浄水フィルターが古くなっていませんか？ ●アイススコップは正しい位置にありますか？ ●貯氷コーナーに食品など氷以外のものを入れていませんか？ ●自動製氷機を「製氷停止」にしていませんか？ ●停電はありませんでしたか？ ●使いはじめなど冷凍室が十分冷えていないときは、氷ができるまでに約6～8時間、夏場は24時間以上かかることがあります。 ●ドアをひんぱんに開けたり、多量の食品を一度に入れませんでしたか？ ●食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？ ●「節電」モードになっていませんか？「節電」モードを解除してください。
氷が丸くなる 小さくなる つながっている 突起ができる	●長期間、貯氷したままになっていませんか？ ●ドアをひんぱんに開けたり、長時間開けたままにしていませんか？ ●給水タンクの水がなくなったり、水を補給したときの最初の氷はつながったり、小さくできることがあります。氷がつながっている場合は、付属のアイススコップで離してください。 ●停電になったことがありませんか？ ●均一な氷をつくるために、製氷皿には水路を設けています。この水路が氷の端に突起として残ります。 突起
氷がにおう	●給水タンクが汚れていたり、水が古くなっていませんか？ ●浄水フィルターをはずしていませんか？ ●浄水フィルターが汚れていたり、古くなっていませんか？ ●お手入れに洗剤や、漂白剤などを使用していませんか？ ●においの強い食品をラップしないで入れていませんか？
氷に白いにごりがある	●もともと、水の中に溶け込んでいた空気の微細な気泡が、氷の中に閉じこめられた為です。 ●ミネラルウォーターや井戸水で製氷していませんか？ ミネラル分の多い水で製氷すると、白色の浮遊物(カルシウム結晶)ができることがあります。害はありません。

お手入れのしかた

■月に１回はお手入れを。

お手入れのしかた

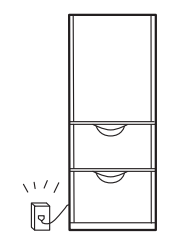
1 電源プラグを必ず抜き、点検をします。
①電源コードに傷がありませんか？
②電源プラグが熱くなっていませんか？

2 やわらかい布にぬるま湯か薄めた中性洗剤を含ませてふいてください。中性洗剤でふいた後は、水ぶきしてください。
●本体や庫内に水をかけないでください。

3 お手入れ後、電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

●不審な点がありましたら、すぐにお買上げの販売店へご連絡ください。

庫内が冷えている場合には、電源プラグを抜いたあと、すぐに差し込んでも10分間は圧縮機の運転をしません。

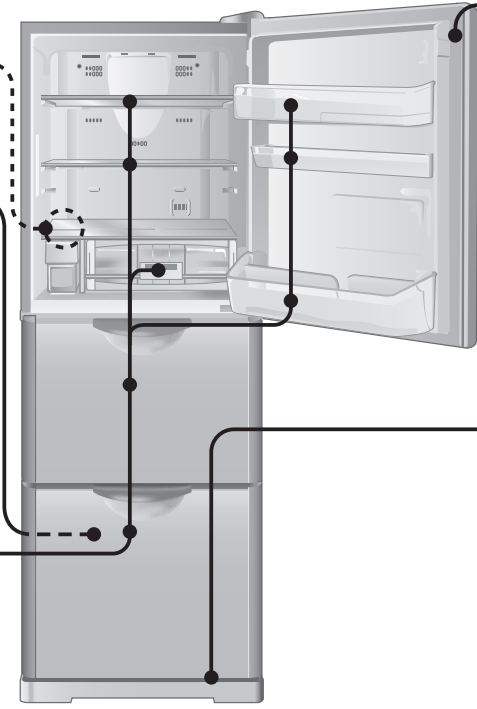
ただし庫内が冷えていない場合は、約10秒で運転を開始します。

お手入れのポイント

この断熱材やシール材は自動製氷を行うために必要な部品です。販売店または修理業者以外は手を触れないでください。

ほこりを取るところ(年1回程度)

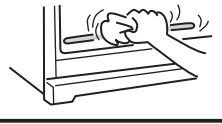
1. 傷の付きやすい床では**保護用の板などを敷いて**から、冷蔵庫を静かに手前に引き出してください。
2. 背面・壁・床の汚れをふいてください。
   - 背面はほこりがたまったり、空気の対流により細かいほこりが付着して黒く汚れやすいところです。

棚・ドアポケット・ケースなど

はずして、水洗いしてください。

ドアパッキング

汚れやすいところです。下側もよくふいてください。

汁受け

汚れや汁がたまったら、ふき取ってください。

⚠注意

■ **冷蔵庫の底面に手を入れない**
冷蔵庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。

●もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠警告

■ **お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない**
感電の原因になります。
■ **電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふき取る**
ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。
■ **電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。
■ **水をかけない**
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

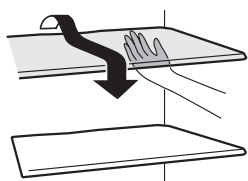
お願い

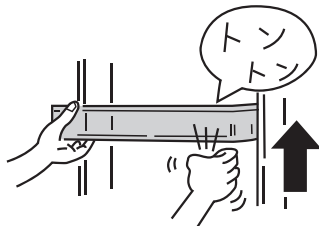
- 食用油やかんきつ類の皮に含まれている汁が付いた場合は、ふき取ってください。プラスチックが割れることがあります。
- 食品などの汁がドア表面に付いた場合は、すぐふき取ってください。そのまま放置しますと、変色することがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんの注意書きに従ってください。
- 次のものは使わないでください。
  ・台所用洗剤の「家庭用品品質表示法に基づく表示」の「液性」欄に、アルカリ性または弱アルカリ性と記載されている洗剤。(プラスチック部品が割れたりプラスチック表面を黄変させることがあります。)
  ・みがき粉・粉せっけん・石油・熱湯・たわし・酸・ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤など。(塗装面やステンレス表面、プラスチックなどを傷めたり変色させることがあります。)

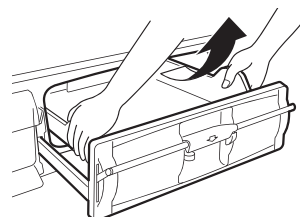
部品のはずしかた・取り付けかた

■ 取り付けかたは、はずしかたの逆の順序で行います。
■ 冷蔵室の部品の取りはずし・取り付けの際はドアを90度以上開いてください。

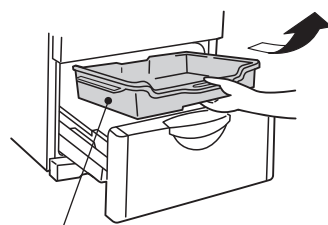
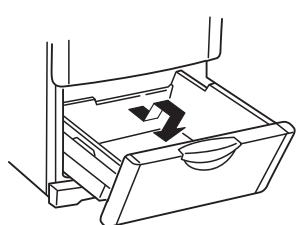
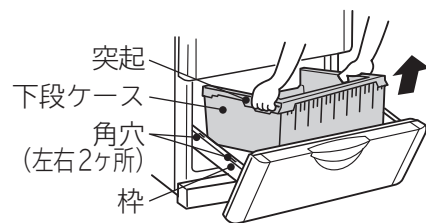
うすいん棚（上段）

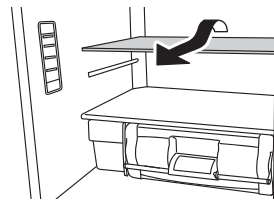
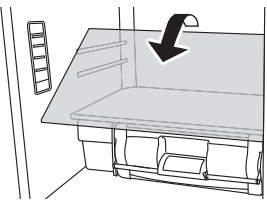
左右の奥を引っ掛けてありますので、奥を少し持ち上げ、手前に引き出します。
取り付けるときは、奥面に当たるまで押し込んでください。

ポケット（上段・中段）

ポケットの取り付けは固くしてありますので、左右の底面を軽く突き上げながら、ゆっくり押し上げてください。

真空チルドケース

手前側を軽く持ちあげてドアの軸からはずし手前に引っぱり出す。
詳しくは →P.13

ご注意
ビタミンカセットは水洗いできません。

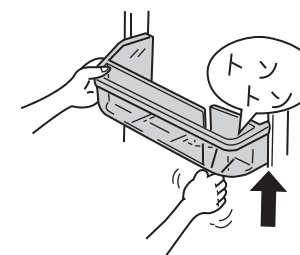
下段ケース・スライドケース

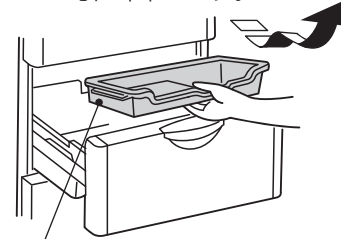
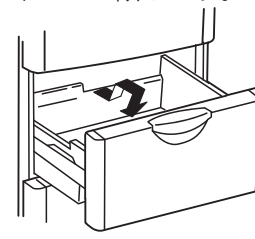
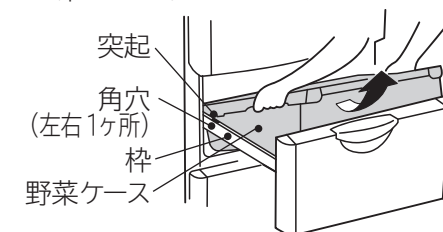
1 ドアを開け、図のようにスライドケースを引き出します。

2 ドアの手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、ドアを床に着けます。

3 下段ケースを図のように持ち上げます。取り付けの際は、ケース左右前側の突起をドア枠の角穴に入れ、ケースふちで枠を抱え込むようにセットしてください。

高さかわるん棚

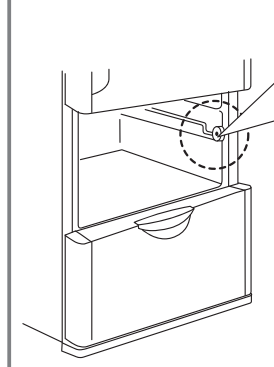
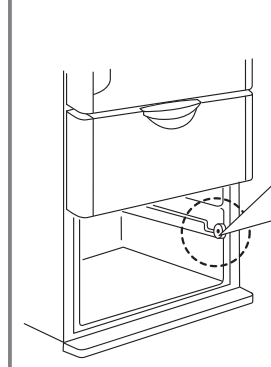
1 棚の奥を少し持ち上げ、手前に引き出す。

2 図のように操作パネルの手前で棚を斜めに下げて取りはずす。

取り付けは、棚を奥面に当たるまで入れた後に棚の奥を少し持ち上げ押し込む。（棚の爪を奥面部品へ引っ掛ける）

ご注意 棚をそのまま引き出すとドアや操作パネルを傷つける場合があります。

ジャンボダブルポケット

ポケットの取り付けは固くしてありますので、左右の底面を軽く突き上げながら、ゆっくり押し上げてください。

野菜ケース・スライド小物ケース

1 ドアを開け、図のようにスライド小物ケースを引き出します。

2 ドアの手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、ドアを傾けます。

3 野菜ケースを手前に持ち上げます。取り付けの際は、ケース左右奥側の突起をドア枠の角穴に入れ、ケースふちを枠の上に乗せるようにセットしてください。

■引き出しドアのはずしかた・取り付けかた

野菜室

冷凍室

ご注意
●部品をはずすときは、部品に載っている食品を取り除いてから行ってください。
●ここで説明している部品以外は、はずさないでください。
説明していない部品をはずして掃除をしたいときなどは、エコーセンターにご相談ください。→P.28
●引き出しドア枠やケースは確実に取り付けていないと、ドアを閉めた状態でパッキングにすき間が生じる場合があります。確実に取り付けてください。

お困りのときは

修理を依頼される前に、次の点をもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店か弊社お客様ご相談窓口にご連絡ください。

お使いはじめによくあるお問い合わせ

お使いはじめに よく冷えない 製氷できない	●夏場や食品が多い場合は、冷えるまでに時間がかかります。 →設置直後は、**24時間以上**かかることがあります。 ●お使いはじめは、庫内が冷えてから製氷運転を開始するために時間がかかります。 食品の量やつめかたにより、**最初の氷ができるまでに24時間以上**かかることがあります。 →ドアの開閉を手早くしたり、できるだけ少なくしてください。 →食品はすき間をあけて収納してください。

こんなとき		お確かめください。こんな理由です。
冷えない		
冷えない 霜・露がつく アイスが やわらかい	食品の収納状況を確認	●食品や袋がはさまり、半ドアになっていませんか？ →ドアを閉めた状態でパッキングにすき間がないことをご確認ください。 ●食品を無理に詰めたり、大量の食品を一度に入れていませんか？ →収納できる食品の高さを守り、ドアの開閉に影響しない量を収納してください。 →食品はすき間をあけて収納してください。 ●スライド小物ケース、スライドケースがきちんと取り付けられていますか？ →きちんと取り付けてください。→P.14,15
	設置を確認	●冷蔵庫を設置した場所やすき間、周りの状況などによって冷えにくい場合があります。 正しく設置されているかご確認ください。→P.4,5
	設定を確認	●「節電」モードになっていませんか？「節電」モードを解除してください。 ●温度設定が「弱」になっているとよく冷えない場合があります。 →よく冷えない部屋の設定温度を「中」または「強」に変更してください。→P.8 ●夏場など、冷蔵庫の周囲の温度が高くなっていませんか？ →よく冷えない部屋の設定温度を「強」に変更してください。
	冷蔵庫の使い方を確認	●冷蔵庫のドアを開けている間は庫内の温度が少しずつ上がります。開け閉めがひんぱんまたは長い時間ドアを開けたままにしておくと、庫内の温度が下がりにくくなります。 →開け閉めの回数を少なくする、手早くするなどしてみましょう。

霜や露がつく

庫内や引き出しの枠に霜や露がつく	●一時的にドアや引き出しが半ドアになっていた可能性があります。 →引き出しやドアを閉める際はぴったりしまっているか確認してください。 ●開け閉めの回数が多いとき、長時間開け続けた可能性があります。 →開け閉めの回数を少なくする、手早くするなどしてください。 ●外の暖かい空気が庫内やドア枠に触れると霜や露がつくことがあります。 →乾いた布でふき取ってください。 ●ドアを開閉したときに、空気中に含まれる水分が、霜や氷となって、冷凍室の壁面や部品につくことがあります。
冷蔵庫の外側に露がつく (外装、ドアパッキング、ドア、引き出しなど)	●雨の日など屋内の湿度が高いときは露がつくことがあります。 ●温度設定「強」のときはドア表面に露がつくことがあります。 →乾いた布でふき取ってください。温度設定を「中」にしてください。
野菜室の中が結露する	●野菜室は他の部屋より湿度が高くなっています。(野菜を乾燥させずに長持ちさせるため) →気になるときはラップをかけて収納してください。 ●結露が多くなると野菜室のケースなどに水が溜まる場合があります。 →乾いた布でふき取ってください。

冷え過ぎる

冷え過ぎる 凍ってしまう	●温度調節が「強」になっていませんか？→「中」にしてください。→P.8 ●周囲温度が5℃以下ではありませんか？ →周囲温度が低いときは庫内が冷え過ぎることがあります。温度調節を「弱」にしてください。→P.8 ●冷気吹き出し口の手前には置かないでください。→P.10

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。
真空チルドが気になる	
「真空チルド」ランプが点滅するとき 	真空機能が正常に動作していないことがあります。つぎのことを確認してください。 ●ハンドルを最後までしっかり押し下げてロックしていますか？ →ロックされていないと真空になりません。 ●真空パッキンと受け部の間に食品の包装、糸くずなどのはさまりはありませんか？ →わずかな食品カスがはさまっていても真空になりません。取り除いてください。 ●真空パッキン・真空パッキン受け部の汚れはありませんか？ →汚れているときはふき掃除をしてください。→P.12,13 ●真空解除弁(青色)がはずれたり、緩んでいませんか？ →ハンドルの穴にしっかりと取り付けてください。
開けるとき、 「シュー」と音がしない	 ●真空パッキン部に食品の包装などがはさまったり、汚れや糸くず、ごみが付着していたりしていませんか？→P.12 →食品の包装がはさまったときは、取り除いてください。 →汚れた真空パッキンはお手入れしてください。 ●真空パッキンやハンドル下部にある真空解除弁(青色)がはずれたり、緩んでいませんか？ ●「真空チルドランプ」は点灯していますか？ ●ハンドルが上に上がっていませんか？ ●真空チルドルーム開閉直後は、真空ポンプが動作を始める準備状態となるため「シュー」と音がしないことがありますが、故障ではありません。
真空になっているかわからない	●開けるときに「シュー」と真空解除音がすれば、正常です。
ハンドルのロックができない	●真空パッキン部や真空チルドケースの奥に食品などがはさまっていませんか？→P.12 ●真空チルドケース手前とドアがはずれていませんか？→P.13
真空チルドルームの周りからの「ブーン」という音と振動がする	●真空にするためのポンプの動作する音です。特に野菜室ドアを開けたときには音が大きく聞こえることがありますが、異常ではありません。 ●夜間など音が気になるときは、真空ポンプの動作を停止することができます。→P.12 ●音や振動がひんぱんにあるときは、ドアに物がはさまっているか真空パッキンが汚れている場合があります。→P.13
真空チルドルームの内部やドア周辺に水滴や霜がつく	●真空チルドルームは密閉しているために、食品や空気中に含まれる水分により、ルーム内に水滴や霜がつくことがあります。 →水分の多い食品はラップしていただくことをおすすめします。 →水滴や霜がついた場合は、やわらかい布にぬるま湯を含ませてふき取ってください。
真空チルドルームの食品が凍る	●ナスやキュウリなど低温に弱い野菜を収納していませんか？→P.10

においが気になる

氷がにおう	●給水タンク、浄水フィルターが汚れたり、氷が古くなっていませんか？ →「ぬめり」「水アカ」防止のため、定期的に水洗いしてください。→P.18 ●水道水中の塩素分が凝縮されるため、塩素が強くにおうことがあります。
庫内がにおう	●においの強い食品をそのまま収納していませんか？ →脱臭機能は全てのにおいを完全に取り除くことはできません。 ラップをかけるなど密封して収納してください。
プラスチックのにおいがする	●庫内にプラスチック部品を多く使用しているためですが、十分に冷えるにしたがってにおいは徐々に少なくなります。念のため、部屋の風通しをよくしてください。

お困りのときは ～つづき～

こんなとき	お確かめください。こんな理由です。

音が気になる

冷蔵庫から聞こえる音がうるさい

●正しく設置されていない可能性があります。

原因	処置
床がたわんでいる	丈夫な板を敷いてからその上に設置してください。→P.4
冷蔵庫が壁や家具などに当たっている	冷蔵庫の周りにすき間をあけて設置してください。
脚カバーがはずれている	脚カバーをしっかり取り付けてください。→P.4

●ご購入後、使いはじめなど冷蔵庫が冷えていないときや、ドアの開け閉めが多いとき、周囲の温度が高いときは圧縮機が高速運転をするため、音が大きく感じることがあります。
→十分に冷えれば音は小さくなります。

運転音が長い

●圧縮機をゆっくり運転させて、省エネ運転をしているためです。

ときどき音が大きくなる

●庫内の温度変化に合わせて運転する力を変更しているためです。

その他 このような音が聞こえたときは

●次のような音は正常な動作のときに発生するもので、異常ではありません。

音の種類	音の発生源
・水の流れるような音（チョロチョロ） ・衝突するような音（コツコツ） ・沸騰するような音（ボコボコ） ・肉を焼くような音（ジュー）	冷蔵庫を冷やすための冷媒が流れる音、霜取りの際に水が流れる音、蒸発する音です。
・きしむような音（ピシッ） （コトン）	冷蔵庫の温度が変化するときや、真空チルドルームの気圧が変化するとき部品がきしむ音です。
・何か引っかかるような音（コトコト） ・うなるような音（プー） ・ドアを閉めた直後の音（ブーン） ・野菜室ドアを開けているときの音（ブーン）	庫内の温度を制御する電気部品や真空ポンプが動作する音です。
・自動製氷機の音 （ギュイーン） （ガラガラ） （ゴボゴボ）	自動製氷機の製氷皿から氷が離れるときや製氷皿に水を入れるときの音です。給水タンクが空のときも2時間ごとに音がします。 自動製氷機の設定を「製氷停止」にすると音がでなくなります。→P.17
・ときどきする音（カタカタ）	庫内を冷やすための運転を始めるときの音です。

その他

冷蔵庫の側面が熱くなる

●冷却装置が運転するときに発生する熱を外に逃がすために熱くなることがあります。
→設置直後や夏場は50～60℃になることもあります。
安全および性能上問題はありませんが、手はふれないでください。

ドアを閉めた直後開けようとすると重い

●庫内に入った空気が急に冷やされて、圧力が一時的に低くなるためです。

ドアを閉めると他のドアが開く

●各室は冷気通路でつながっているため、ドアを閉める風圧で他のドアが一瞬開くことがあります。

温度をもっと細かく調節したいとき

冷蔵室と冷凍室の温度設定は「弱」「中」「強」をさらに細かく調節できます。
1. 冷凍室ドアを開ける。
2. 操作部の冷蔵ボタンを“ピーッ”音がするまで5秒以上押しつづける。（細かい調節が可能となります。）
3. 冷蔵、冷凍ボタンを押して調節する。1回押すごとに1段階強くなります。（「強」で押すと「弱」に戻る。）
4. 細かい調節をやめたいときは、1と2の操作をしてください。アラーム音が“ピピッ”となり、通常の調節に戻ります。

消費電力量・冷凍室の性能／こんなときには

冷蔵庫の消費電力量について

■年間消費電力量は、JIS C 9801（2006年版）で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。
■使用時の消費電力量は、設置の仕方、各庫内の温度設定、周囲温度や湿度、ドア開閉頻度、新しく入れる食品の量や温度、使い方等により変動する場合があります。

	JIS C 9801（2006年版）消費電力量測定方法			
種類	冷凍冷蔵庫「スリースター」「フォースター」機種		冷蔵庫	冷凍庫
庫内温度	冷凍室 −18℃以下	冷蔵室 4℃以下	冷蔵室 4℃以下	冷凍室 −18℃以下
ドア開閉回数	8回／日	35回／日	35回／日	8回／日
周囲温度	30℃及び15℃			
周囲湿度	30℃測定時：70±5％ 15℃測定時：55±5％			
消費電力量の表示	JIS年間消費電力量（kWh／年） （周囲温度30℃測定による1日当りの消費電力量180日分と周囲温度15℃測定による1日当りの消費電力量185日分の合計）			

冷凍室の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は ＊＊＊＊（フォースター）です。
冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C9607）に定められた方法で試験したときの、冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

■ JISの試験方法は次の通りです。
● 冷蔵室の温度が0℃以下とならない範囲で、最も低い温度になるよう温度調節をして、試験を行います。→P.8
● 冷蔵庫の設置場所の温度は、15～30℃の範囲を基準としています。
● 冷凍室定格内容積100L当り4.5kg以上の食品を24時間以内で−18℃以下に凍結できる性能の冷凍室を、フォースター室としています。

記号	＊＊＊＊ フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	−18℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3ヵ月

■ 市販冷凍食品の貯蔵期間
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

こんなときには…

塗装面に傷が付いたときは

放っておくと、さびや塗装のハガレなどが発生しますので、早めに処置してください。
【簡単な処置方法】※さびは紙やすりなどで落としてから
○小さな傷は、テープを貼る。
○大きな傷は、防水性の壁紙を貼る。

停電したときは

ドアの開閉を減らし、新たな食品の保存はさけてください。

長期間使わないときは

電源プラグを抜いてから庫内や自動製氷機のおそうじをし、2～3日間ドアを開けて乾燥させてください。
→P.18,19,20,21
●特に給水タンク内の浄水フィルターは、よく乾燥させてください。

霜取りは

冷却器についた霜は自動的に解けます。解けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。
霜取り操作は不要です。
●JIS（日本工業規格）では、霜取り中および霜取り終了後の冷凍負荷温度（食品温度）の上昇が5℃以下と規定されています。

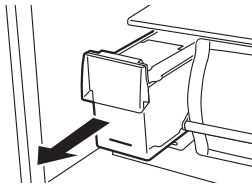
移動・運搬のしかた

移動・運搬のまえに

1. 庫内の食品を取り出す。
2. 自動製氷機の水を抜く。
   （右参照）
3. 給水タンクの水をすてて、空にする。
4. 電源プラグを抜き、アース線をはずす。
5. 調節脚を上げる。
   ➔P.4

自動製氷機の水抜き

■ 自動製氷機の製氷皿に残っている氷や水を取り除きます。

① 給水タンクをはずし、冷凍室のドアを閉める。

② 操作パネルの製氷ボタンを“ピーッピーッピーッ…”と鳴るまで“約5秒”押しつづける。

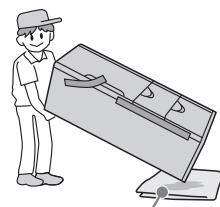
③ 約3分後にアラームが止まったら貯氷コーナーにたまった氷や水を取り除く。

④ 乾いたタオルで貯氷コーナーをふき、元の位置に戻す。

⚠注意

■ 冷蔵庫を移動・運搬するときは、通路に防護シートなどを敷いてから行ってください。

冷蔵庫内部の蒸発皿（外部から見えません）及び給水タンク内に水が残っていると、移動・運搬時に水が床面にこぼれることがあります。

大きめの古布などを置き、冷蔵庫を後方に倒して、水抜きをしてください。

移動・運搬のとき

- ドアが開かないように、テープでしっかり固定してください。
  ドアの側面に、塗装（メタリック）が施してあるものについては、テープの下に紙などを当てて、粘着剤が塗装部につかないようにしてください。
- 2人～4人以上で運搬してください。
- イラストのようにドアを上にして運搬してください。
- 引き出し式ドアの取っ手を、運搬時に使わないでください。破損の原因になります。
- 車などで運搬の際は、横積みをしないでください。圧縮機の故障の原因になります。
- 取っ手（手かけ部）をクレーン等で吊らないでください。落下する恐れがあります。
- 冷蔵庫底面のシール材は、放熱効率を上げるための部品ですので、取らないでください。

⚠警告

■ **背面・側面などをぶつけたり傷付けたりしない**

壁内の配管から冷媒が漏れ出すと、火災・爆発の原因となります。

仕様・別売部品

仕様

型式		R-S270DMV
種類		冷凍冷蔵庫
定格内容積		265L
	冷蔵室	145L
	野菜室	54L〈 29L 〉
	冷凍室	66L〈 40L 〉
外形寸法		幅540mm×奥行625mm（ハンドル含まず）×高さ1,495mm
定格電圧		100V
定格周波数		50/60Hz 共用
電動機の定格消費電力		89W
電熱装置の定格消費電力		140W（霜取り時）
年間消費電力量		冷蔵室ドア内側の品質表示ラベルに表示してあります。
質量		59kg

部品	
冷蔵室	
うすいん棚……… 1	ポケット（上段）… 1
高さかわるん棚… 1	ポケット（中段）… 1
真空チルドケース… 1	ジャンボダブルポケット… 1
卵ケース………… 1	給水タンク……… 1
固定棚…………… 1	
野菜室	
野菜ケース……… 1	スライド小物ケース… 1
冷凍室	
スライドケース… 1	下段ケース……… 1
アイススコップ… 1	

- 「定格内容積」は、日本工業規格（JIS C9801）に基づき、庫内部品のうち冷やす機能に影響がなく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。「定格内容積」には、「食品収納スペース」と「冷気循環スペース」を含みます。
- 〈 〉内は、「食品収納スペースの目安」です。引き出し式貯蔵室（野菜室、冷凍室）の場合、「定格内容積」と併せ「食品収納スペースの目安」を表示しています。
- 霜取りは1日1～2回程度、1回の霜取り時間は20～30分程度です。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。またアフターサービスもできません。

別売部品

■次の部品を購入する場合は、必ず販売店にお使いの冷蔵庫の型式をご指定のうえ、専用の部品をお買い求めになってください。

自動製氷用浄水フィルター

- 古くなったら交換してください。
  （約3～4年が目安です。）
- 部品番号 RJK-30

ビタミンカセット

- 水洗いしてしまうと、酸化防止効果が低下しますので、交換をおすすめします。
- 部品番号 R-S37BMV 330

真空パッキン

- 破損・変形・変色して真空状態が保てなくなったら交換してください。

	部品番号
真空パッキン	R-S30CMV 321
真空解除弁	R-S37BMV 060